

▼ユニツキシム点滴静注 [注]

【重要度】 【一般製剤名】ジヌツキシマブ（遺伝子組換え） Dinutuximab (Genetical Recombination) 【分類】抗悪性腫瘍剤 [抗GD2モノクローナル抗体]

【単位】▼17.5mg/5mL

【常用量】

1日1回1回17.5mg/m²を点滴静注、28日間を1サイクルとして、1、3、5サイクルは4～7日目、2、4、6サイクルは8～11日目に投与

■フィルグラスチム及びヒセテロイキンと併用ジヌツキシマブ（遺伝子組換え）として1日1回17.5mg/m²（体表面積）を10～20時間かけて点滴静注する。28日間を1サイクルとし、する。

【用法】10～20時間かけて点滴静注■点滴速度の指定あり■20時間以上の残液があれば廃棄

■premedicationとしてオピオイド鎮痛剤、抗ヒスタミン剤、解熱鎮痛剤等の指定あり

【透析患者への投与方法】

【保存期CKD患者への投与方法】

【特徴】

【主な副作用・毒性】

【安全性に関する情報】

【E】

【tmax】

【代謝】

【排泄】

【t1/2】66hr (1)

【蛋白結合率】

【Vd】

【MW】

【透析性】

【O/W係数】

【肝障害患者への投与方法】

【小児CKD患者における報告】

【妊婦・授乳婦への投薬】

【主な臨床報告】

【更新日】20210823

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。